

(企画提案書作成例)

個別学習用デジタルドリルの調達に係る

企画提案書

(提案者名)

1 調達目的の理解度、実施方針の妥当性(副題は任意)

(必ず言及が必要な内容)

① デジタルドリルの利用目的について

※利用自体が目的ではない。利用を通じてどのように学力向上や教員の働き方等の解決を図るのかについて記載されたい。

② デジタルドリルの活用に関する課題分析

※多くの自治体でデジタルドリルが導入されているが、その活用については諸課題がある。今後継続的な活用のために、現状をどのように分析しているのかを記載されたい。

③ 本調達の実施方針

※②の課題分析を踏まえ、本市においてどのような方針で調達・利活用支援を行うのかを記載されたい。

2 ドリルの画面構成・操作性について(副題は任意)

(必ず言及が必要な内容)

① 貴社ドリルの特徴

※他社製品と類似している機能面は簡便に説明し、差別化しているところを紹介されたい。

② 主な画面構成の紹介、機能説明

※画面構成上で配慮されていることも記載されたい。

③ 画面の操作性(回答、画面遷移)

④ 主な画面への遷移ルート表

(何手順で目的ページまで遷移できるか。)

※特殊操作によるショートカットの作成等は除外する。

3 学校で活用できる工夫(副題は任意)

(必ず言及が必要な内容)

- ① 画面構成・操作性以外の部分で、学校で活用しやすい工夫があるかどうかについて記載されたい。

4 導入支援(副題は任意)

(必ず言及が必要な内容)

- ① 導入に際し、学校現場および教育委員会事務局の負担が少ない導入支援となっているかについて評価する。
※学校および教育委員会事務局で、どれだけの作業量・時間が発生する見込みであることを記載されたい。

5 活用支援(副題は任意)

(必ず言及が必要な内容)

- ① 導入後、継続的な活用には、どのような支援が必要とされるか、またその支援をどのくらい提供するかについて記載されたい。

- ② 業者が提供する支援以外に、学校・教育委員会事務局、あるいは保護者においての意識形成についても可能な範囲で言及されたい。

6 セキュリティ対策(副題は任意)

(必ず言及が必要な内容)

① デジタルドリル利用で想定される一般的な脅威

② セキュリティ対策について

※①で想定した脅威に対してどのような対策を講じるのか、ハード、ソフトの観点から記載されたい。

7 スケジュール(副題は任意)

(必ず言及が必要な内容)

- ① 学校、教育委員会、提案者別に行を分けて明示すること。

8 見積価格、内訳

- ① 見積として、本書および別紙見積様式を提出すること。

見積総額

金

円

(但し消費税および地方消費税を含む)